

平成30年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年1月5日

上場会社名 株式会社マルマエ

上場取引所 東

コード番号 6264 URL http://www.marumae.com/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前田 俊一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 藤山 敏久 TEL 0996-64-2900

四半期報告書提出予定日 平成30年1月15日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年8月期第1四半期の業績（平成29年9月1日～平成29年11月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第1四半期	1,045	69.2	318	183.4	316	184.8	220	190.0
29年8月期第1四半期	618	△0.2	112	△27.6	111	△24.9	76	△24.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第1四半期	18.55	—
29年8月期第1四半期	7.23	—

(注) 当社は、平成29年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年8月期第1四半期	4,962	3,286	66.2
29年8月期	5,418	3,137	57.9

(参考) 自己資本 30年8月期第1四半期 3,286百万円 29年8月期 3,137百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期	—	8.00	—	6.00	—
30年8月期	—	—	—	—	—
30年8月期（予想）	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、平成29年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成29年8月期第2四半期末は株式分割前、平成29年8月期期末および平成30年8月期は株式分割後の配当金の額を記載しております。

3. 平成30年8月期の業績予想（平成29年9月1日～平成30年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,000	54.2	550	98.1	539	99.3	367	99.4	30.81
通期	4,000	31.8	1,000	30.7	980	33.0	668	24.0	56.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年8月期1Q	11,911,600株	29年8月期	11,911,600株
② 期末自己株式数	30年8月期1Q	97株	29年8月期	64株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年8月期1Q	11,911,536株	29年8月期1Q	10,535,636株

（注）当社は、平成29年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると断定する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動にリスクが残るなか、各種政策の効果もあって、個人消費や設備投資、輸出、生産は持ち直し、企業収益や雇用・所得環境の改善傾向もあり緩やかな回復基調が続きました。

当社の主な販売分野である半導体業界におきましては、ロジック系半導体についてはスマートフォンに関連する投資に一時的な停滞が見られましたが、サーバー用途については好調に推移しました。また、データセンターサーバーのSSD化等の需要拡大を背景に3D NANDの生産拡大に向けた設備投資が急速に拡大しました。また、半導体製造装置の需要増加と工作機械の需要増加に伴い、リニアガイドやチップコンデンサーなど、一部の部品の需給が厳しくなり長納期化するなど部材確保に問題が始めました。FPD業界におきましては、量産の主流が中小型パネルが液晶から有機ELへ移り、同時に中国向けの設備投資が拡大しました。また、中国向けの第10.5世代大型液晶パネル向けに複数の設備投資計画が進展しました。

このような経済状況のもと、半導体分野では、急激な需要拡大に合わせて新事業所の取得や工作機械の確保など、期首の想定を超える生産設備の増強を行うとともに、流動的人材を確保し、生産体制の強化を図ることで受注および売上高は拡大傾向で推移しました。FPD分野では、前事業年度より引合いが続いている有機EL向けと第10.5世代液晶パネル向けの受注が拡大し売上高も順調に推移しました。費用面では、売上高の増加に伴い材料費と外注加工費も増加したことにくわえ、急拡大する半導体製造装置市場の需要に備えるために生産設備の増強や人材採用を積極的に進めていることで、減価償却費や労務費等が増加し製造原価は増加しました。販売費及び一般管理費も人員増に伴い増加しております。

これらの結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高が1,045百万円(前年同期比69.2%増)、営業利益は318百万円(前年同期比183.4%増)、経常利益は316百万円(前年同期比184.8%増)、四半期純利益は220百万円(前年同期比190.0%増)となりました。

なお、当社は精密部品事業のみの単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

前事業年度末に比べ、456百万円減少し4,962百万円となりました。主な内容は、有形固定資産が111百万円、受取手形及び売掛金が22百万円、電子記録債権が106百万円増加、現金及び預金が697百万円減少したこと等によるものであります。

## (負債)

前事業年度末に比べ、606百万円減少し1,675百万円となりました。主な内容は、1年内返済予定の長期借入金が340百万円、長期借入金が44百万円、未払法人税等が103百万円、その他流動負債が115百万円減少したこと等によるものであります。

## (純資産)

前事業年度末に比べ、149百万円増加し3,286百万円となりました。主な内容は、四半期純利益の計上により利益剰余金が149百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前事業年度末の57.9%から66.2%となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期第2四半期以降の業績につきましては、パイオニアプラズマディスプレイ株式会社から出水事業所を取得したことに伴い、当初想定していなかった登録免許税が平成29年12月に55百万円発生する見込みとなりました。また、顧客からの要望に応え大幅な設備増強を行うことで減価償却費等の費用が増加する見通しです。しかしながら、半導体分野の受注高及び売上高は好調に推移しており、第2四半期に増加した費用程度の増益が見込まれることから、現時点においては第2四半期累計期間及び通期の業績見通しに変更はありません。

第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、業績予想修正の必要と判断される場合には速やかに開示いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年8月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,425,596	1,727,665
受取手形及び売掛金	452,156	474,911
電子記録債権	458,510	564,992
商品及び製品	69,183	66,298
仕掛品	230,891	238,533
原材料及び貯蔵品	15,608	21,856
その他	51,253	40,271
貸倒引当金	△1,911	△2,180
流動資産合計	3,701,288	3,132,349
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	469,726	464,341
構築物(純額)	15,442	14,942
機械及び装置(純額)	852,347	841,341
車両運搬具(純額)	23,205	20,612
工具、器具及び備品(純額)	5,395	6,465
土地	308,043	308,043
建設仮勘定	358	130,459
有形固定資産合計	1,674,519	1,786,205
無形固定資産	35,211	35,728
投資その他の資産	7,801	7,801
固定資産合計	1,717,531	1,829,735
資産合計	5,418,820	4,962,084
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	123,444	124,680
1年内返済予定の長期借入金	519,602	179,512
未払法人税等	199,340	95,872
受注損失引当金	3,700	1,200
その他	342,899	226,944
流動負債合計	1,188,985	628,209
固定負債		
長期借入金	1,071,742	1,026,864
退職給付引当金	6,909	7,716
資産除去債務	1,658	1,662
その他	12,463	11,186
固定負債合計	1,092,773	1,047,429
負債合計	2,281,759	1,675,638

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年8月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	581,171	581,171
資本剰余金	1,278,356	1,278,356
利益剰余金	1,277,533	1,426,977
自己株式	△0	△59
株主資本合計	3,137,061	3,286,445
純資産合計	3,137,061	3,286,445
負債純資産合計	5,418,820	4,962,084

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年9月1日 至平成29年11月30日)
売上高	618,096	1,045,613
売上原価	416,058	618,407
売上総利益	202,037	427,206
販売費及び一般管理費	89,537	108,431
営業利益	112,500	318,775
営業外収益		
受取利息	2	32
為替差益	3,853	1,067
その他	365	473
営業外収益合計	4,220	1,574
営業外費用		
支払利息	5,363	3,363
その他	50	0
営業外費用合計	5,413	3,363
経常利益	111,307	316,985
特別利益		
固定資産売却益	1,999	—
特別利益合計	1,999	—
税引前四半期純利益	113,307	316,985
法人税、住民税及び事業税	34,221	88,543
法人税等調整額	2,910	7,529
法人税等合計	37,132	96,072
四半期純利益	76,175	220,913

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期累計期間(自平成28年9月1日 至 平成28年11月30日)及び当第1四半期累計期間(自平成29年9月1日 至 平成29年11月30日)

当社は、精密部品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。